



# 中国四国

<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

第24号  
平成26年4月発行

## 高知県内の自衛隊施設等を使用して日米共同統合防災訓練を実施



武田防衛副大臣

尾崎高知県知事

清藤香南市長

懇談の様子

陸自高知駐屯地内に設置された指揮所において状況報告を受ける武田防衛副大臣、尾崎高知県知事及び清藤香南市長等

### CONTENTS

- ① 平成25年度日米共同統合防災訓練 (TREX)
- ② 第9回岩国基地に関する協議会開催
- ③ 参議院外交防衛委員会の委員が愛宕山地区を視察
- ④ 平成25年度在日米軍従業員の安全衛生講習会開催
- ⑤ KC-130空中給油機の岩国飛行場への移駐計画
- ⑥ 岩国飛行場の既存海兵隊部隊の基地内移転
- ⑦ 米軍岩国基地で非戦闘員退避訓練 (NEO)
- ⑧ 護衛艦「ふゆづき」の引渡式 (三井造船(株)玉野事業所)
- ⑨ 防衛省ホームページ (全国自衛隊イベントマップ) を開設
- ⑩ 日米交流合同コンサート開催

# 平成25年度日米共同統合防災訓練(TREX)

## ～高知県等に丁寧に説明～

平成26年1月14日、武田良太防衛副大臣が高知県庁を訪問し、2月中旬を目途に、南海トラフ地震を想定した日米共同統合防災訓練を実施することについて説明しました。

尾崎正直高知県知事からは、防災訓練そのものは非常に有意義であるとの評価をいただく一方、①安全対策の徹底、②地元の皆様への十分な説明の2点について要望をいただきました。

### 高知県庁での説明



武田防衛副大臣(中央)



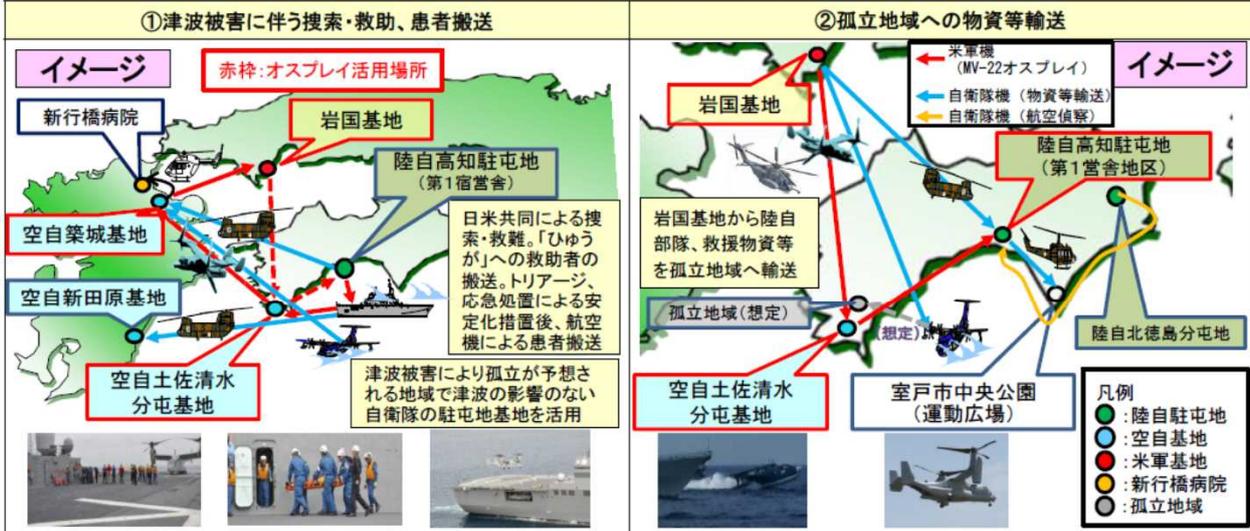
尾崎高知県知事(左)

中国四国防衛局としては、防災訓練の内容等(MV-22オスプレイの安全性、訓練時程等)について、高知県や同県内の4市(香南市、土佐清水市、室戸市、土佐市)を始め、地元の皆様方に対して丁寧に説明を行いました。



### 訓練全般(イメージ)

- 目的：南海トラフ地震を想定した対処について、在日米軍、自治体及び関係省庁との連携要領の確立を図る。
- 実施時期：平成26年2月7日(金)
- 実施場所：中国・四国、九州地域及び同周辺海・空域 **(初の日米共同かつ統合による実動防災訓練)**



<b>土佐清水分屯基地・築城基地</b> ○ 県庁職員等輸送 高知駐屯地→土佐清水分屯基地 ○ 救援物資等受入 ○ 患者搬送(緊急患者空輸) 土佐清水分屯基地→築城基地 →新行橋病院	<b>護衛艦「ひゅうが」(土佐市沖1.5km停泊)</b> ○ 救難拠点 ○ 周辺沿岸部での捜索・救難 ○ 洋上SCU活動 ・ 患者の受入れ ・ トリアージ、応急措置等 ・ 広域医療搬送引継ぎ	<b>高知駐屯地</b> ○ 現地統制所開設 ○ 被災地内における航空機の運航拠点 ○ 救援物資等受入 ○ 航空燃料補給点開設	<b>室戸市中央公園(運動広場)</b> ○ 県庁職員等輸送 高知駐屯地→室戸市運動公園 ○ 救援物資等受入 自衛隊ヘリによる物資等受入れ
---	--	---	---

## 平成25年度日米共同統合防災訓練(TREX)

### ～防災訓練への参加～

平成26年2月7日、高知県内の自衛隊施設等を使用して、日米共同統合防災訓練が行われました。当日は、MV-22オスプレイ等一部の航空機が参加できなかったものの、陸自高知駐屯地や空自土佐清水水分屯基地、土佐市沖に停泊した海自護衛艦「ひゅうが」、室戸市中央公園等において訓練が展開されました。

中国四国防衛局としても、陸自高知駐屯地の指揮所内に設けられたブースに藤井局長が詰めるなど、多くの職員を配置し、防災訓練の進捗状況を見守るとともに、尾崎高知県知事や清藤香南市長の視察を支援したり、参観に訪れた和歌山県等自治体職員を案内するなどの活動を行いました。



中国四国防衛局ブース(陸自高知駐屯地指揮所内)



指揮所内で部隊展開状況等を確認



武田副大臣と尾崎知事を乗せて護衛艦「ひゅうが」に向かうCH-47ヘリ  
(陸自高知駐屯地)



救援物資を積載して飛来したCH-47ヘリ  
(室戸市中央公園)



護衛艦「ひゅうが」に着艦するCH-47ヘリ(土佐市沖)



救援物資を運ぶ陸自隊員

## 第9回岩国基地に関する協議会開催

岩国市、山口県及び中国四国防衛局は、米軍岩国基地に係る安心・安全対策等について、三者が共同して問題解決を図るため、平成21年2月に「岩国基地に関する協議会」を設置し、平成26年2月21日、岩国市 福田良彦市長、山口県 小松一彦総務部理事、中国四国防衛局 藤井高文局長らが出席し、第9回目となる協議会を岩国市役所で開催しました。



藤井局長挨拶



福田岩国市長挨拶

福田市長は、「昨年、空母艦載機の移駐が3年程度遅れるとの説明を受けたが、岩国基地に係る安心・安全対策についての協議は遅らせることなく、問題解決を図っていく必要がある。まだ解決していない項目については、引き続き、国において誠意を持って取り組んでいただくと同時に、国、県、市の緊密な連携のもと、更なる協議を進めてまいりたい。」と挨拶しました。

藤井局長は、「空母艦載機の岩国飛行場への移駐などの米軍再編事業について、地元の理解を得ながら進めてまいりたい。そのためには、岩国飛行場周辺の皆様が安心して、かつ安全に暮らせる環境を確保することが必要であり、当局としては、これらの安全安心対策について、誠心誠意対応してまいりたい。」と挨拶しました。

同協議会では、住宅防音工事の拡充や航空機騒音の状況、オスプレイへの対応、米軍構成員等による事件・事故の防止、民間空港の状況、地域振興策等の現状や取組について報告され、それぞれについて協議が行われました。



協議会の様子

## 参議院外交防衛委員会の委員が愛宕山地区を視察

平成26年2月24日、参議院外交防衛委員会の末松信介委員長(自民)ら11人が、岩国飛行場や岩国市を訪れました。岩国飛行場の視察後、岩国市役所を訪れ、福田岩国市長と意見交換を行い、その後、愛宕山地区において、愛宕山地区に整備する予定の米軍家族住宅や運動施設の計画について説明しました。



参議院外交防衛委員会愛宕山視察状況

## 平成25年度在日米軍従業員の安全衛生講習会開催

中国四国防衛局(岩国防衛事務所)では、岩国基地で働く在日米軍従業員の健康の保持増進を目的として様々な安全衛生講習を行っています。

平成25年度 高齢従業員保健衛生等講習会(独立行政法人駐留軍等労務管理機構岩国支部)

(第1回)平成25年6月18日 (第2回)平成25年12月10日

「高齢者の心身機能の特性を教育し、加齢に伴う心身機能の変化を自覚させることにより、高齢従業員等の健康の保持増進を図る。」

平成25年度 メンタルヘルス講習会(米海兵隊岩国航空基地内)

(第1回)平成25年11月25日 (第2回)平成26年2月19日

「ストレスマネジメントの手法を修得する。」



写真は第2回メンタルヘルス講習会の講習風景

## KC-130空中給油機の岩国飛行場への移駐計画

### ～ 岩国飛行場へのKC-130移駐に向けた工事～

平成25年10月30日、岸外務副大臣と木原防衛大臣政務官が、山口県副知事及び岩国市長等に対し、KC-130飛行隊が2014(平成26)年6月から9月の間に岩国飛行場へ移駐する見込みであること等を説明しました。その後、12月16日、山口県副知事、岩国市長、和木町長及び周防大島町長が、菅内閣官房長官、小野寺防衛大臣、岸田外務大臣と順次会談し、副知事から「普天間飛行場が継続して使用されることがないよう政府が責任を持って取り組むとの不退転の決意を確認させていただいたので、県及び基地周辺1市2町としては、沖縄の負担軽減に協力すべきとの考えから、15機のKC-130が2014(平成26)年6月から9月の間に岩国飛行場に移駐することについては、これを容認することとしたい」旨発言がありました。

また、その後、沖縄県高良副知事、佐喜眞宜野湾市長が岩国市を訪れ、KC-130移駐容認について感謝の意を表明されました。

なお、現在、KC-130の移駐に向け、格納庫、駐機場等の建設を進めているところです。



駐機場



保管庫



格納庫

## 岩国飛行場の既存海兵隊部隊の基地内移転(報道公開)

平成26年2月14日、米軍岩国基地報道部は、米軍再編事業により完成した既存部隊(海兵第12飛行大隊及び海兵第12航空補給中隊)の新施設への移転作業等を報道陣に公開しました。



格納庫内を取材する報道関係者



完成した駐機場

# 岩国飛行場の既存海兵隊部隊の基地内移転(式典)

平成26年3月27日、米軍再編事業により完成した既存部隊(海兵第12飛行大隊及び海兵第12航空補給中隊)の新施設への移転式典が開催されました。



テープカットで完成を祝うアヤラ少将(左から2人目)と藤井局長(中央)等関係者



米軍及び防衛局関係者約100人が出席



運用が開始された格納庫

## 既存海兵隊部隊地区の移転イメージ図



# 米軍岩国基地で非戦闘員退避訓練 (NEO)

平成26年3月19日、米軍岩国基地で不測の事態を想定した非戦闘員退避訓練 (NEO) が行われ、その一部を報道関係者に公開しました。訓練は、1週間前から開始され、危険地域から一時避難場所 (岩国基地を想定) へ待避させ、そこで避難の必要がある非戦闘員 (民間人) の身分等を確認し、より安全な地域へ航空機で搬送するもので、年2回実施する定期訓練です。

今回、搬送する航空機として普天間飛行場からMV-22オスプレイ3機が飛来し、同訓練に参加しました。



オスプレイから降りて周囲の安全確認を行う海兵隊員

## 格納庫を一時避難所と想定



危険物等所持していないか持ち物検査を行う海兵隊員



取材を受ける第3海兵機動展開部隊のブラッド・ヒギンズ少佐 (現場責任者)

ヒギンズ少佐は「紛争地などの不測の事態が生じた際、民間人を救出する訓練ですが、物資を供給する人道支援や災害援助活動にも生かされ、日米同盟においてもメリットがあるもの」と説明しました。



パスポート等で国籍の確認を行う国務省職員



社会保障番号を機械照合してリストバンド (搬送許可証) を装着

## 護衛艦「ふゆづき」の引渡式(三井造船(株)玉野事業所)

平成26年3月13日、海上自衛隊の護衛艦「ふゆづき」が完成し、三井造船(株)玉野事業所で引渡式・自衛艦旗授与式が行われました。

引渡式では、三井造船の田中孝雄社長が若宮健嗣防衛大臣政務官に引渡書を渡し、自衛艦旗授与式では、若宮政務官が北御門裕艦長に自衛艦旗を授与しました。

式後、降雨の中、一般の市民ら約600人に見送られ出港しました。



5,000トン型 護衛艦「ふゆづき」(提供:三井造船(株))



平成24年8月22日 進水式(提供:三井造船(株))



平成26年3月13日 引渡式(提供:三井造船(株))  
田中社長(手前右)から引渡書を受ける若宮政務官(手前左)

「ふゆづき」は、新型の護衛艦である「あきづき」型護衛艦の4番艦で、排水量5,000トン、全長151m、最大幅18.3m。機関としてガスタービン4基を装備しています。

主な武器は、VLS装置一式、艦対艦ミサイル艦上装置一式、62口径5インチ砲1基、高性能20ミリ機関砲2基、水上発射管2基、哨戒ヘリコプター1機を搭載しています。

本艦は、平成23年6月に起工、平成24年8月に進水し、このたび完成引き渡しとなったものです。

## 防衛省ホームページ（全国自衛隊イベントマップ）を開設

防衛省ホームページにおいてイベント情報を容易に把握することができる「全国自衛隊イベントマップ」ページを新設し、平成26年4月1日より運用を開始いたしました。是非ご覧ください。

防衛省・自衛隊HP内「全国イベントマップ」  
<http://www.mod.go.jp/j/publication/events/map/index.html>

北海道地方  
 東北地方  
 関東地方  
 中部地方  
 近畿地方  
 中国地方  
 四国地方  
 九州地方

地方で絞り込む場合は上の表を、都道府県で絞り込む場合は地図をクリックしてください。  
 選択項目に反映されます。

地域や期間、所属などで絞り込み検索ができます。  
 条件を選択後、「検索する」ボタンをクリックしてください。

開催地域：中国地方  
 開催期間：2014年4月 1 日から 一か月間  
 所属： 全て  新着のみ  
 陸上自衛隊  海上自衛隊  航空自衛隊  
 地方協力本部  その他の機関

キーワード：



2件のイベントがヒットしました。

### 中国地方

[▲ 先頭に戻る](#)

#### 広島県

所属	主催機関・基地名	日付	イベント名	開催地
陸自	海田市駐屯地 (広島県安芸郡)	3月29日(土) 30日(日) または 4月5日(土) 6日(日)	桜並木一般公開	海田市駐屯地 (広島県安芸郡)
海自	第1術科学校 (広島県江田島市)	4月5日(土) 6日(日)	第1術科学校構内一般公開	第1術科学校 (広島県江田島市)

# 日米交流合同コンサート開催

## U.S. JAPAN Friendship Concert in I W A K U N I

平成26年2月15日、シンフォニア岩国コンサートホールで「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を開催しました。このコンサートは、米海兵隊岩国航空基地周辺の地域住民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため実施しているもので、今回が4回目となります。



福田良彦岩国市長は「米軍基地のある岩国市で、日本とアメリカの住民が同じ町に住む良き隣人、友人として日々の生活の中で自然に交流の輪が広がってほしい。」と祝辞を述べました。



岩国航空基地司令官のロバートV. ブシェー大佐は「この交流が地元との友情をさらに深めるきっかけとなり、皆さんの視野を広げてくれると思う。」と祝辞を述べました。



主催者の藤井高文中国四国防衛局長は「去年は周防大島町、今年には和木町からも参加してもらい、日米の絆の輪を広げることができた。来年は、さらにたくさんの学校が参加していただきたい。」と挨拶しました。



太鼓「躍進」  
岩国市立柱野小学校&M.C.ペリー・  
エレメンタリースクール合同



和木町立和木小学校



M.C.ペリー・エレメンタリースクール

# 日米交流合同コンサート開催

合同セッション「キューピッド・シャッフル」



周防大島町立安下庄中学校



岩国市立平田中学校



大竹市立小方中学校



M.C.ペリー・ハイスクール

フィナーレは出演者全員で「上を向いて歩こう」を演奏

